

患者番号
氏名

生年月日
性別

採取日時

結果コメント

依頼医師

オーダー日

検査種別	末梢血液一般・網赤血球	材料	血液
検査結果用紙の見方			

検査項目	結果	単位	基準値	結果値コメント
末梢血液一般検査	.		***	
WBC	L 1.73	10 ⁹ /L	3.30 - 8.00 × 10 ⁹ /L	
RBC	L 2.97	10 ¹² /L	4.35 - 5.55 × 10 ¹² /L	
Hb	L 8.9	g/dL	13.7 - 16.8 g/dL	
Ht	L 26.0	%	40.7 - 50.1 %	
MCV	87.5	fL	83.6 - 98.2 fL	
MCH	30.0	pg	27.5 - 33.2 pg	
MCHC	34.2	%(g/dL)	31.7 - 35.3 g/dL	
PLT	!L 17	10 ⁹ /L	158 - 348 × 10 ⁹ /L	
NRBC	H		0.0 /100WBC	
NRBC#			*** 10 ⁹ /L	
RDW-SD			*** fL	
RDW-CV			*** %	
PDW			*** fL	
MPV			*** fL	
P-LCR			*** %	

基準範囲から外れている場合にマークが付きます
H：基準範囲 上限超え
L：基準範囲 下限超え
!H / !L：緊急異常値

各検査項目の基準範囲を示します

検査種別	生化学検査	血液
受付日		
受付番号	00010	

検査項目	結果	単位	基準値	結果値コメント
乳び(生化学)	0			示]をクリック
溶血(生化学)	0			示]をクリック
黄疸(生化学)	0			示]をクリック
AST	H >1600	(仮) U/L		
ALT	H >1600	(仮) U/L		
LD(IFCC)	H 233	U/L		
ALP(IFCC)	H			
γ-GT	!H			
TP				
ALB				
A/G				
T-Bil	H			
D-Bil				
CRE	H			
eGFR	L			
UA	H			
UN				

検査結果が変更となる可能性がある仮報告であることを示しています

基準範囲は、健常人の大多数が含まれる検査値の範囲を示すもので健常人であっても基準範囲外の結果となることがあります。また、それとは逆に病気をもち人であっても基準範囲内の結果となることもあります
検査値は自身で解釈せずに、必ず主治医の判断に従ってください

患者番号
氏名

生年月日
性別

採取日時

結果コメント

依頼医師

オーダー日

検査種別	内分泌検査	材料	血液
受付日			
受付番号	00010		
検査項目	検査の概要	単位	基準値
GH	成長ホルモン	ng/mL	男性：4.40 ng/mL 以下 女性：7.65 ng/mL 以下
	脳の下垂体前葉から分泌される成長促進や代謝調整に関わるホルモンで、分泌の不足や過剰を確認する検査です。		
プロラクチン	脳の下垂体前葉から分泌され、乳汁の分泌を促すホルモンで、過剰に分泌されると無月経や乳汁漏出症候群、不妊などをきたすもので、その分泌異常の鑑別などに用いられる検査です。	ng/mL	男性：3.0 - 17.3 ng/mL 女性：1.6 - 21.9 ng/mL(閉経前非妊娠)
LH	黄体形成ホルモン	mIU/mL	男性：0.5 - 7.8 mIU/mL 女性 成人卵胞期：1.1 - 12.1 mIU/mL 女性 成人排卵期：2.0 - 39.7 mIU/mL 女性 成人黄体期：0.7 - 21.6 mIU/mL 女性 成人閉経後：8.4 - 67.7 mIU/mL
	月経周期に関連して下垂体前葉分泌されるホルモンで、月経異常や不妊症の原因がどこにあるのか（下垂体か卵巣か）を調べる検査です。		
FSH	卵胞刺激ホルモン	mIU/mL	男性：1.3 - 17.0 mIU/mL 女性 成人卵胞期：2.6 - 11.9 mIU/mL 女性 成人排卵期：2.8 - 15.6 mIU/mL 女性 成人黄体期：1.4 - 9.6 mIU/mL 女性 成人閉経後：13.3 - 157.1 mIU/mL
	月経周期に関連して下垂体前葉分泌されるホルモンで、月経異常や不妊症、二次性徴の早発や遅延の原因を調べる検査です。		
TSH	甲状腺刺激ホルモン	μ IU/mL	0.500 - 5.000 μ IU/mL (ECLIA)
	脳の下垂体前葉から分泌され、甲状腺に対して刺激を与えて甲状腺ホルモンを分泌させる働きのある物質で、甲状腺ホルモン分泌の不足や過剰を鑑別する検査です。		
free T4	遊離サイロキシン	ng/dL	0.88 - 1.62 ng/dL (ECLIA)
	甲状腺から分泌されるホルモンで、TSHと合わせて検査		
free T3	遊離トリヨードサイロニン	pg/mL	2.33 - 4.00 pg/mL (ECLIA)
	甲状腺から分泌されるホルモンで、TSHと合わせて検査することで、甲状腺の機能状態を調べる検査です。		
サイログロブリン	甲状腺ホルモンに変化する前の物質で、甲状腺がんの有無やその増大度を調べる検査です。	ng/mL	2.0 - 37.7 ng/mL
TR-Ab (第3世代)	抗TSHレセプター抗体	IU/L	2.0 IU/L 未満
	バセドウ病の鑑別診断や、抗甲状腺治療の中止時期判定に活用される検査です。		
インスリン	血糖値を下げる働きのあるホルモンで、主に糖尿病の診断、治療、経過観察、治療薬剤の選択などの目的で検査されます。	μ U/mL	2.1 - 19.0 μ U/mL
C-ペプチド	すい臓から分泌されるプロインスリンがインスリンに変化する際に生成されるタンパクで、膵臓の内分泌機能やインスリンの分泌状態を反映する検査です。	ng/mL	0.74 - 3.18 ng/mL
コルチゾール	副腎皮質から分泌される糖質コルチコイドと呼ばれる物質の一部で、副腎皮質に対して刺激を与えるホルモンとあわせて評価することによって、副腎や下垂体の働きが正常かを検査するものです。	μ g/dL	5.00 - 18.00 μ g/dL

患者番号
氏名

生年月日
性別

採取日時

結果コメント

依頼医師

オーダー日

検査項目	検査の概要	単位	基準値
検査種別 内分泌検査 受付日 受付番号 00010		材料 血液	
テストステロン	副腎皮質から分泌されるホルモンで、男性では性腺機能、下垂体、腎臓の病気、女性では副腎の病気を調べる検査です。	ng/dL	男性：242.0 - 972.0 ng/dL 女性：10.0 - 75.0 ng/dL
E2	エストラジオール 月経周期と関連して分泌が増減するホルモンで、主に胎児の状態や胎盤の機能を調べる検査です。	pg/mL	男性：8.5 - 48.0 pg/mL 女性 卵胞期：15.6 - 186.4 pg/mL 女性 排卵期：20.9 - 267.7 pg/mL 女性 黄体期：14.6 - 512.6 pg/mL 女性 閉経後：<2.0 - 47.3 pg/mL 女性 妊娠初期：448 - 3028 pg/mL 女性 妊娠中期：707 - 26743 pg/mL 女性 妊娠後期：9500 - 40542 pg/mL
プロゲステロン	月経周期の関連して卵巣と胎盤から産生され、黄体機能や胎盤機能を調節する働きのあるホルモンで、主に卵巣、胎盤、副腎の機能を調べる検査です。	ng/mL	男性：0.88 ng/mL 以下 女性 卵胞期：1.00 ng/mL 以下 女性 黄体期：15.50 ng/mL 以下 女性 閉経後：0.73 ng/mL 以下 女性 妊娠初期：2.16 - 54.89 ng/mL 女性 妊娠中期：18.01 - 82.26 ng/mL 女性 妊娠後期：60.00 - 316.52 ng/mL
インタクトHCG($\alpha\beta$)	ヒトじゅう毛性ゴナドトロピン (インタクト) 正常な胎盤で作られるホルモンで、妊娠初期から高値となる妊娠反応にも利用され、異常妊娠の診断や経過観察のほか、HCG産生腫瘍の腫瘍マーカーとしても用いられます。	mIU/mL	男性：0.5 mIU/mL 未満 女性 非妊婦：0.5 mIU/mL 未満 女性 妊婦 4~7週：2150 - 167000 mIU/mL 女性 妊婦 8~11週：25600 - 180000 mIU/mL 女性 妊婦 12~20週：7310.0 - 136000.0 mIU/mL 女性 妊婦 21~40週：1170.0 - 143000.0 mIU/mL
トータルHCG($\alpha\beta+f\beta$)	ヒトじゅう毛性ゴナドトロピン (トータル) 正常な胎盤で作られるホルモンですが、じゅう毛性疾患の検査やHCG産生腫瘍の腫瘍マーカーとしても用いられます。	mIU/mL	男性：0.5 mIU/mL 未満 女性 非妊婦：0.5 mIU/mL 未満 女性 妊婦 4~7週：1930.0 - 167000 mIU/mL 女性 妊婦 8~11週：25200 - 181000 mIU/mL 女性 妊婦 12~20週：6780.0 - 142000 mIU/mL 女性 妊婦 21~40週：1130.0 - 142000 mIU/mL
NT-proBNP	脳性Na利尿ペプチド前駆体N端フラグメント 心臓から分泌されるホルモンで、心臓の機能が低下して心臓への負担が大きくなるほど多く分泌されるため、心不全の診断と重症度の判定に用いられる検査です。	pg/mL	カットオフ 125 pg/mL
BNP	ヒト脳性Na利尿ペプチド 主に心臓の心室にて合成されるタンパクで、心不全の評価、心肥大、心筋障害の指標となる検査です。	pg/mL	18.4 pg/mL 以下

患者番号
氏名

生年月日
性別

採取日時

結果コメント

依頼医師

オーダー日

検査種別	腫瘍関連抗原	材料	血液
受付日			
受付番号	00010		
検査項目	検査の概要	単位	基準値
AFP	α-フェトプロテイン 本来は胎児期に産生され、健康な人にはほとんどみられないタンパクで、肝細胞がんの補助診断、治療効果判定、再発の指標などに用いられる検査です。	ng/mL	7.0 ng/mL 以下
	ピタミンKが欠乏すると増加する異常なタンパクで、肝細胞がんなどの補助診断に用いられる検査です。		
PIVKA-2 (腫瘍)	がん胎児性抗原 胎児の時期に消化器粘膜で産生されるタンパクで、大腸がんをはじめとする腺がんなど、消化器系がんの補助診断を行う検査です。	mAU/mL	33.3 mAU/mL 以下
CEA	すい臓がんや胆管がんなどの、消化器系がんの補助診断として用いられる検査です。	ng/mL	3.4 ng/mL 以下
CA19-9	卵巣がん、子宮がん、子宮内膜症などの補助診断、経過観察などに用いられる検査です。	U/mL	37.0 U/mL 以下
CA125	乳がんの補助診断や転移予知、術後のモニタリングなどを行うための検査です。	U/mL	35.0 U/mL 以下
CA15-3	サイトケラチン19フラグメント 肺がん（特にへん平上皮がん）の診断、治療効果、再発の指標に用いられる検査です。	ng/mL	2.8 ng/mL 以下
CYFRA	神経特異エノラーゼ 肺小細胞がんや神経内分泌腫瘍の診断補助として用いられる検査です。	ng/mL	12.00 ng/mL 以下
NSE	前立腺特異抗原（トータル） 前立腺がんのスクリーニング、再発や転移の指標、治療効果判定などに有用な検査です。	ng/mL	3.530 ng/mL 以下
トータルPSA	前立腺特異抗原（遊離型） 遊離型PSA比 PSAのうち、タンパクに結合していない状態で存在している遊離型PSAを測定するもので、トータルPSAに対する比をとることによって、前立腺がんほかの疾患との鑑別に有用な指標となります。	ng/mL	フリーPSA：*** ng/mL PSA F/T比：25 % 以上
フリーPSA PSA F/T比			

腫瘍関連抗原は、腫瘍マーカーとも呼ばれる検査で、体内に悪性腫瘍（がん）ができると、健康な時にはほとんど見られない特殊な物質が血液中に現れることがあり、それを検査することによって腫瘍の有無を推測する検査です。しかし、実際は腫瘍がないのに陽性になることもありますので、結果の解釈は必ず主治医の判断に従ってください。